

## 長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	041 -	事業名	清掃センター運営事業			担当部課	くらし文化部環境課		
基本情報	第5次総合計画・基本方針	✓ 万博理念を継承し、自然・環境にこだわるまち	会計 区分	一般会計					
	まちづくり行程表・フラッグ	✓ 「みどり」～ふるさと(生命ある空間)の風景を子どもたちに～		予算区分(款 - 項 - 目)					
	第6次総合計画・基本目標	✓ みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物	4-2-1 清掃費						
	法定受託事務の有無	-							
	その他(関係計画、要綱等)	✓	一般廃棄物処理基本計画、清掃センターリユース掲示板運営要領、清掃センター子ども服・図書リユース事業実施要領						
事業開始の背景、経緯等	平成11年6月策定の第4次長久手町総合計画において、清掃センターの建設を掲げる。平成19年清掃センター(ながくてエコハウス)開館、平成29年11月出張ながくてエコハウス開設								
事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市民が清掃センター(エコハウス)を利用するにあたり、以下を実施 ①清掃センター(エコハウス)の適切な維持・管理・運営 ②資源回収ステーションでの資源回収及び再資源化、リユース倉庫での不用品(制服、子ども服、図書等)の回収配布							
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民							
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 環境への関心を高め、ごみの減量及び資源化に取り組む。							
	事業を構成する事務事業(B票)	① 清掃センター運営事業	拡充	④					
	②		⑤						
	③		⑥						
コスト推移	項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)	
	事業費(A)	千円	予算	7,385	8,617	7,840	9,413	9,722	
			決算	7,841	7,813	10,462	9,347		
	人件費(B)	千円	決算	5,347	7,121	6,749	5,654		
総コスト(A)+(B)	千円	決算	13,188	14,934	17,211	15,001			
成果推移	成果指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)	
	A 家庭系1人1日あたりのごみ排出量 (資源ごみ、集団回収ごみを除く)	g	目標	516	508	500	472	463	
			実績	483	474	477	480		
	B 資源回収量	kg	目標	4,213,601	4,386,682	4,513,239	3,500,569	3,551,763	
			実績	3,589,173	3,481,359	3,447,279	3,476,570		
C 資源化率	%	目標	28.70	29.60	30.50	25.2	25.5		
		実績	26.08	25.78	25.22	25.0			
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)									
A 資源として回収することで、ごみの減量につながるため。一般廃棄物処理基本計画に掲げる目標値から算出して設定									
B 資源として回収することで、ごみの減量につながるため。									
C 資源として回収することで、ごみの減量につながるため。資源化するごみの量÷ごみの排出量									
環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) ・日進市エコドーム、公園等100か所以上に資源回収場所がある。 ・尾張旭市リサイクル広場、リユース機能が充実している。 ・瀬戸市資源リサイクルセンター、イベント・講座が充実している。							
	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 家庭系1人1日あたりのごみの排出量は成果指標の目標値を達成できているが、資源回収量、資源化率は学生や単身世帯等のごみ減量意識が低いと思われることから目標値を達成できていない。ただし、資源回収量は、新聞・雑誌等の発行数の減少など状況の変化があることから、単純な比較ができなくなっている。							
評価	過去5年間の振り返り	(過去5年間の事業の進捗状況、改善状況などの振り返り) H26に金属製調理器具とプラスチック製容器包装、H29に羽毛ふとん、H30に水銀体温計・水銀血圧計の受け入れを開始し、受入品目を増加した。また、H30にリユース倉庫で制服のリユースを開始した。H29には、卯塚緑地公園内で出張ながくてエコハウスを開始した。							
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 市民のエコ意識の高まりとともにエコハウスの駐車場が混雑する。出張ながくてエコハウスを開設し、徐々に集客も増えたが、もっと周知する必要がある。							
今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 市民のエコに対する意識は年々高まってきており、エコハウスの利用者も増加していることから、出張ながくてエコハウスを開設した。利用者も増えてきたことから、出張を継続しつつ、新たな施設の設置も検討していく。							
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 10年程度先には、まちづくり協議会とも連携し、地域による資源の回収システムを作り、ごみの減量化・資源化を推進する。							

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・令和元年度からは、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえて、事業を進めてください。
------	-------------------------	--

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	清掃センター運営事業		担当部課	くらし文化部環境課	決算書ページ	—
事務事業名	①	清掃センター運営事業	予算区分	4-2-1 清掃費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	平成19年度	終了(予定)年度	—		

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市民が清掃センター（エコハウス）を利用するにあたり、以下を実施 ①清掃センター（エコハウス）の適切な維持・管理・運営 ②資源回収ステーションでの資源回収及び再資源化、リユース倉庫での不用品（制服、子ども服、図書等）の回収配布
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 環境への関心を高め、ごみの減量及び資源化に取り組む。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
事業費	千円	予算	7,385	8,617	7,840	9,572	9,722
		決算	7,841	7,813	10,462	9,347	
<備考：事業費の主な内訳（30年度(2018)）>							
(1)		施設管理業務委託					6,374 千円
(2)		光熱水費					760 千円
(3)		植栽維持管理工事					675 千円

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
資源回収ステーション利用者数	人	見込	150,000	160,000	180,000	190,000	190,000
		実績	165,306	181,429	184,921	198,359	
資源回収量	kg	見込	4,213,601	4,386,682	4,513,239	3,500,569	3,551,763
		実績	3,589,173	3,481,359	3,447,279	3,476,570	
<備考：活動の概要（30年度(2018)）>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃センター（エコハウス）の資源回収ステーション及びリユース倉庫の適切な維持、管理、運営</li> <li>出張ながくてエコハウスの維持、管理、運営</li> </ul>							

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

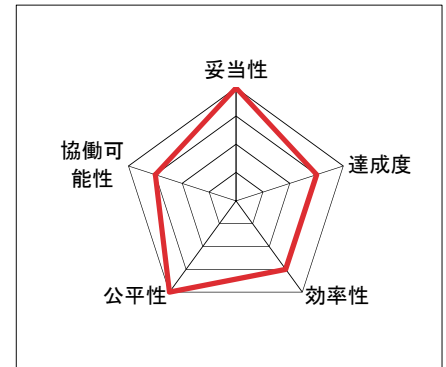
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
<ul style="list-style-type: none"> <li>日進市エコドーム、公園等100か所以上に資源回収場所がある。</li> <li>尾張旭市リサイクル広場、リユース機能が充実している。</li> <li>瀬戸市資源リサイクルセンター、イベント・講座が充実している。</li> </ul>

## 5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況		
(前年度【予算額】)	(今年度【予算額】)	(増減額)
9,572 千円	9,722 千円	150 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》		
・前年度【今後の方向性】	拡充	
・前年度【コメント】	市民のエコに対する意識は年々高まってきており、エコハウスの利用者も増加していることから、出張ながくてエコハウスを開設した。利用者も増えてきたことから、出張を継続しつつ、新たな施設の設置も検討していく。	
(3) 改善状況		
(何をどのような状態に改善したのか)		
エコハウスで、水銀体温計及び水銀血圧計の受け入れ、またリユース倉庫の充実のため、市内中学校の制服リユースを開始した。		

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	4
達成度	3
効率性	3
公平性	4
協働可能性	3



### 【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数（人）				
区分	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
見込	160,000	180,000	190,000	190,000
実績	181,429	184,921	198,359	
(2) 協働の状況（30年度(2018)）				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)				
エコハウスや出張エコハウスだけではなく、地域による回収拠点の設置を進め、市民主体による回収ができないか検討している。				

### 【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など)
エコハウスで、水銀体温計及び水銀血圧計の受け入れ、またリユース倉庫の充実のため、市内中学校の制服リユースを開始した。

### 【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など)
市民のエコに対する意識は年々高まってきており、エコハウスや出張の利用者も増加していることから、出張を継続しつつ、新たな施設や地域による回収拠点の設置も検討していく。

## 7. 今後の方向性

拡充